

金属 × 工芸 × 彫刻 × 建築 × デザイン × 金属造型



Opening
a Window
to the
World

世界を拓く窓

蓮田 修吾郎
SHUGORO
HASUDA



2026
9.20(日) 会期中 無休
— 10.25(日)

9時30分～18時
(入館は17時30分まで)

観覧料／一般1000円(800円)
大学生800円(600円)
高校生以下無料

* ()内は65歳以上の方および20名以上の団体
* 2階コレクション展観覧料を含む
* 身体障がい者・精神障がい者保健福祉・療育手帳をお持ちの方、またはミライROIDをご提示の方および付き添いの方1名は観覧無料

主催／石川県立美術館 特別協力／北國新聞社
後援／NHK金沢放送局、MRO北陸放送、テレビ金沢、HAB北陸朝日放送、石川テレビ放送



Opening Hours: 9:30 - 18:00
*Last admission 30 minutes before closing.
Admission: Adults: ¥1000 (¥800)
University Students: ¥800 (¥600) 65 and over: ¥800
*Fees in parentheses are for groups of 20 people or more.
*Tickets also include admission (same day only) to the ongoing Collection Exhibition. *Persons with disabilities and one caregiver of individuals with disabilities: Free admission. Please present a certificate of disabilities when entering the museum.

〈白銅浮彫「湖畔」〉(部分) 1999年
個人蔵(石川県立美術館寄託)
撮影・濱崎敏彦

石川県金沢市出身の蓮田修吾郎（1915-2010）は、金属工芸・彫刻・建築の分野を横断する独自の作風を確立した作家です。石川県立工業学校（現・石川県立工業高等学校）卒業後、東京美術学校（現・東京藝術大学）で鑄金を学びつつ、彫刻やデザインなどにも目を向けながら作品制作を行いました。

卒業後は、日展や日本現代工芸美術展、グループ展などを舞台に作品を発表していきます。浮彫（レリーフ）やスクリーン形態の作品で評価され、方壺シリーズで立体構成を試み、自身の表現を追求しました。また、ドイツを訪問し造型作品が環境に調和していることに衝撃を受けてからは「建築と接点を持った金属造型」がテーマに加わりました。美術・工芸が社会の中で果たす役割についての思考を反映したモニュメントをさかんに制作しながら、自身が主宰した日本金属造型研究所を基盤に、日独の国際交流を促進する活動を精力的に行いました。広い視野をもち、金工の概念を飛び出すように確立させた「金属造型」は、蓮田が拓いた独自の世界といえるでしょう。

本展は、蓮田修吾郎の軌跡を、その代表作はもちろん、貴重な初期作品やデザインの仕事、関連資料などと併せて紹介するものです。蓮田のひと活動を深く掘り下げる、これまでにない機会となるでしょう。ダイナミックなスケールをもつ「金属造型」の世界をお楽しみください。

軽やかに鳥が飛ぶ、詩的な1点



《麗銀彦「山かげ」》2009年
金沢21世紀美術館蔵 撮影：渡邊修

「方壺」シリーズ 前夜

《朱銅「扁壺」》1957年
石川県立工業高等学校蔵



《悠馬「四島のかけ橋」》1991年（石川県金沢市・金沢駅西広場）
©石川県観光連盟

金沢駅で、
いまも親しまれる
モニュメント



《北方領土返還祈念シンボルモニュメント「四島のかけ橋」》
1981年（北海道根室市・納沙布岬）



愛するドイツの風景を、幻想的に表現

《白銅浮彫「豊穡なるライン」》1983年 石川県立美術館蔵



樹皮のように ささくれ立つ金属が、 森のざわめきを伝える

《鑄銅「森の鳴動」》
1961年 日本芸術院蔵
文化庁許可済

黒豹とサボテンは、 ある日の思い出



《鑄銅浮彫「黒豹スクリーン」》1953年
個人蔵 撮影：濱崎敏彦



《龍斑スクリーン》1937年 東京藝術大学蔵

卒業制作は、金属・布・木を
組み合わせさせた意欲作！

関連行事

■まちに出よう！作品めぐりバスツアー

蓮田修吾郎の作品は美術館の外にもたくさん！まちに設置された蓮田作品を、学芸員の案内でめぐります。

①10月17日（土）13時～15時30分 ②10月18日（日）13時～15時30分
*各回内容は同じです
集合・解散：石川県立美術館
ナビゲーター：竹内 唯（石川県立美術館 学芸員） 定員：各回10名
申込：事前申込制（応募者多数の場合は抽選）
*受付開始日については当館公式ウェブサイトでお知らせいたします *参加無料

■土曜講座

①「蓮田修吾郎 ー世界を拓く窓」 ②「かたちをつくるー蓮田修吾郎と大樋年朗」
日時：10月3日（土）13時30分～15時 日時：10月10日（土）13時30分～15時
講師：竹内 唯（石川県立美術館 学芸員） 講師：奈良 竜一（石川県立美術館 学芸員）
いずれも 会場：石川県立美術館 講義室 *参加無料、申込不要

■0才からのファミリー鑑賞会

赤ちゃんをはじめとする小さなお子さんと美術館デビューをしてみませんか？いろいろな美術館で乳幼児からの鑑賞会をサポートしている講師と一緒に、作品を鑑賞しましょう。

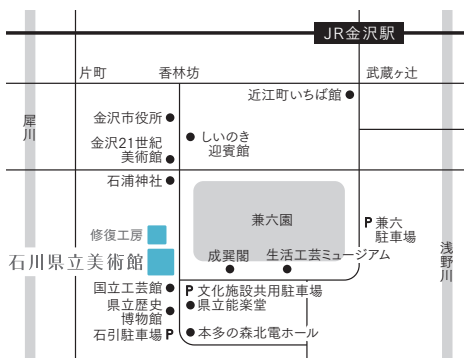
9月26日（土）①15時～16時 ②13時～14時 *各回内容は同じです
9月27日（日）①10時～11時 ②13時～14時 *各回内容は同じです
講師：富田 めぐみ 氏（NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事）
会場：石川県立美術館 企画展示室
対象：0才～小学生までのお子さんとその家族
定員：各回5組 20名程度
*事前申込制、先着順 *高校生以下無料、ご家族内おとな2名まで無料
*受付開始日については当館公式ウェブサイトでお知らせいたします

■ギャラリートーク

作品を前にして、見どころをお話します。
9月21日（月・祝）、10月12日（月・祝）
14時～15時
会場：石川県立美術館 企画展示室
*要観覧券、申込不要

■コラボスイーツ

会期中、館内カフェ「ル ミュゼ ドゥ アッシュ KANAZAWA」にて、展覧会をイメージしたコラボスイーツを提供いたします。



■対話で！作品鑑賞会

対話をしながら作品鑑賞を行うプログラムです（解説ではありません）。よく見て、おしゃべりしながら、ゆっくりと美術館で過ごしてみませんか？
10月11日（日）11時～11時30分
会場：石川県立美術館 企画展示室
定員：10名程度（先着）
*要観覧券、申込不要

交通のご案内

【バス】
JR金沢駅バスターミナル兼六園口（東口）から、路線バスで「羽町」または「広坂・21世紀美術館」下車、徒歩5分。

【タクシー】
JR金沢駅から4km、10～15分（平常時）。

【自家用車】
北陸自動車道「金沢西」もしくは「金沢森本」インターから20～30分。来館者専用駐車場（無料）あり。

同時開催

2階コレクション展

・加賀藩の美術工芸 ・県美工芸の新しい仲間たち ー新収蔵品展ー
・琳派Ⅱ ー相説と草花図の広がりー ・優品選

石川県立美術館

ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART
〒920-0963 石川県金沢市出羽町2-1 TEL:076-231-7580
https://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/

